

クアーズテック秦野カルチャーホール
(秦野市文化会館)
令和4年度 事業計画書

《目次》

1. 管理運営の理念、方針
2. 管理業務の体制
3. 事業の概要及び実施する時期
4. その他の事項

令和4年1月31日

みんなの文化会館はだのパートナーズ

1.管理運営の理念、方針

(1)管理運営理念は「みんなの文化会館」

私たちは、クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)の設置目的「市民の文化向上及び福祉増進(秦野市文化会館条例第2条)」を達成するため、条例・法令を遵守し、利用者にとって公平・平等かつ安心・安全を確保しながら、市の芸術文化振興、賑わい創出の拠点として「みんなの文化会館」を合言葉に、市民とともに創り、育み、未来につなぐ新しい形の施設運営を目指します。

(2)10の管理運営方針

上記の理念に基づき、次の10項目を管理運営方針とします。

- ①優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します
- ②公平・公正な運営を行います
- ③安全・安心で快適な施設管理を行います
- ④高いホスピタリティで利用者をお迎えします
- ⑤地域交流拠点として賑わいを創出します
- ⑥with コロナ時代のサービスを提供します
- ⑦大規模改修のアドバイス体制を整えます
- ⑧効率的で効果的な運営を行います
- ⑨環境配慮のSDGs運営を目指します
- ⑩市民との「共創運営」を目指します

(3)秦野らしい「共創運営」を目指します

「みんなの文化会館」の理念に基づき、地域の様々なステークホルダーと連携する新しい「共創運営」の形を目指します。40年以上のメディア活動を通じ、地域社会と強い信頼関係を築いてきた代表企業の強みを生かし、みんなで地域の文化を育てようという地域共創の仕組みづくりに取り組みます。

(4)「賢い活用」「スマート化」の視点、ノウハウを取り入れます

私たちは「発信力」「企画力」「人脈・ネットワーク力」といった強みを生かし、施設の「賢い活用」「スマート化」の視点を重視した管理運営をすることで、事業収支を好転させ、収益をサービス向上に還元するという好循環を生み出すため、次のような事項に取り組みます。

【主な取り組み】

- 数値目標の設定
- マーケティング活動
- スタッフのモチベーションアップ
- 営業活動の展開
- デジタル化推進

(5)環境へ配慮したSDGs運営を目指します

SDGs経営の視点を大切に、次のようなことに取り組みます。

【主な取り組み】

- エネルギー使用量の目標を設定
- 公共交通機関での来館や消灯・節水の呼びかけ
- ペーパーレス化
- ノー残業デー、クールビズ・ウオーズの実施
- ごみ持ち帰り推進
- グリーン購入



2. 管理業務の体制

(1) 共同事業体「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の役割

- 最高意思決定機関
- 年度事業計画の策定と承認
- パートナーズ運営会議の開催
- 秦野市との指定管理者協定に基づく履行管理
- 事業体協定に基づく履行管理

(2) 「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の構成企業の役割

- 株式会社タウンニュース社(代表企業)…事業体事務局、施設の管理運営、自主事業の企画運営
- 株式会社日動計画…施設設備保守監視・環境衛生測定・清掃・保安警備
- 株式会社サウンドダック…舞台設備管理運営業務・自主事業の運営
- 株式会社関野建設…施設の点検・改修
- タウンニュース・エンターテイメント株式会社…自主事業の企画・レストラン運営

(3) 効果的な人員配置で高水準のサービスを提供

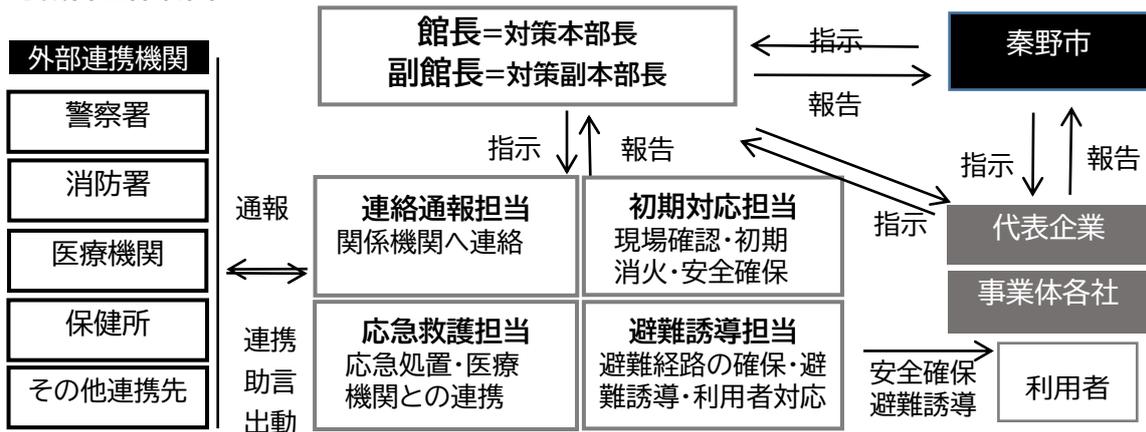
館長、副館長、事務管理職員、施設維持管理職員、舞台技術職員を配置し、専門性を生かして業務にあたります。また、構成企業各社の本社職員が職務をサポートします。

(4) 危機管理体制

私たちは安全管理を最優先事項とし、様々なリスクを認識した上、法令規則の遵守を徹底し、安全・安心を確保する体制づくりと未然防止策を講じます。

- 危機管理体制は、市、警察、消防、医療機関等との外部連携も構築します
- 日常点検、巡回警備、施設・舞台の定期点検等により、事故等の未然防止につなげます
- 危機管理マニュアル(事故・災害・防犯・緊急連絡先一覧)を作成し、防災訓練や研修を実施します
- 感染症対策も危機管理と位置づけ、ガイドラインを策定して感染防止策を講じます

危機管理体制図



(5) 個人情報の管理体制

個人情報の漏えいは個人の権利侵害や行政の信用失墜につながるなどの責任を強く認識し、市個人情報保護条例等を遵守し、情報の適正管理と保護徹底に取り組みます。代表企業の経営管理部長を個人情報管理責任者として配置し、個人情報保護規程を策定、セキュリティ対策等を講じます。

3. 事業の概要及び実施する時期

(1)令和4年度 大小ホールでの自主・共催事業公演スケジュール

公演日	公演名	会場
4/24(日)	藤澤ノリマサ クラシカルコンサート	大ホール
5/22(日)	加藤登紀子 エターナルコンサート	大ホール
6/ 5(日)	HY HANAEMI TOUR【共催】	大ホール
6/12(日)	ヴァイオリンリサイタル	大ホール
6/19or24予定	女性演歌歌手コンサート	大ホール
7/17(日)	サマーシアター2022 演サ連・演劇&人形劇フェスティバル	小ホール等
8/11(祝)	クラシックコンサート	大ホール
8/20(土)	ボサノヴァ歌手コンサート	大ホール
9/10(土)	インストゥルメンタルユニットコンサート	大ホール
9/未定	やまなみコンサート	小ホール
10/16(日)	ロックミュージシャンプロデュースイベント	大ホール
10/29(土)	女性シンガーソングライターコンサート	大ホール
11/未定	やまなみコンサート	小ホール
11/27(日)	男性歌手ユニットアコースティックライブ	大ホール
12/ 4(日)	女性歌手コンサート	大ホール
12/18(日)	クアーズテック クリスマスコンサート	小ホール
1/未定	やまなみコンサート	小ホール
1/14or20 予定	山田和樹プロデュース公演	小ホール
1/21(土)	コーラスグループコンサート	大ホール
2/18(土)	ミュージカル	大ホール
2/26(日)	丹沢音楽祭	大ホール
3/5(日)	オペラ歌手デュオリサイタル	大ホール
3/未定	やまなみコンサート	小ホール

(2)令和4年度 その他の自主事業

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する機会を創出します。令和4年度は、下記のような事業に取り組む予定です。

○歌声喫茶 ○ホワイエコンサート ○子ども向け芸術振興事業 ○文化会館バックヤードツアー

4. その他の項目

(1) 市民意識調査

令和 4 年度からの施設運営に市民ニーズを反映させるため、代表企業のタウンニュース社では令和 3 年 12 月にクアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)に関する市民意識調査を実施しました。同調査の結果を踏まえ、3つの取り組みを本計画の重点施策に位置付けます。

1. 市民意識調査の実施概要

○実施日:令和 3 年 12 月3日~20日

○実施方法:①タウンニュース秦野版紙上で告知し、web フォームで受付 ②クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)内でアンケート用紙を設置し、同館回収箱で受付

○有効回答者数:155 名(Web フォーム 122 名、回収箱 33 名)

2. 意識調査を踏まえた3つの重点施策

①プロモーション強化に取り組みます

同調査では「利用しやすくなると思うサービス」の設問について、回答者の 70%が「催し物の広報・PRの強化」、約 23%が「施設の分かりやすい案内」を挙げています。一方、「情報を得る手段」についての設問には、「広報はだの」が 8 割を超え、情報入手する媒体の偏りが見られました。以上を踏まえ、令和 4 年度はオリジナルメディアの強化とクロスメディアでのプロモーションに取り組み、施設利用の促進につなげます。

②クラシックを中心とした多様な音楽鑑賞の機会を提供します

「興味ある公演ジャンル」の設問では、回答者数 1 位のクラシック音楽(40%)と 2 位のロック・ポップス(22%)が大半を占めています。また、文化会館に訪れた動機の 6 割が「公演鑑賞のため大小ホールを利用した」と回答しています。こうした声を踏まえ、令和 4 年度の自主事業は、クラシックを中心とした多様な音楽鑑賞の機会を創出し、施設の利用促進につなげます。

③満足度の高いレストランサービスを提供します

同調査では、「利用しやすくなると思うサービス」について、回答者の 4 割がレストランサービスの導入を挙げており、記述式の設問「文化会館への意見・要望」でも、飲食提供を求める記述が目立ちました。事業計画では「3つのコンセプトカフェ」の運営を盛り込んでいますが、クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)の利便性を高めるサービスと位置づけ、満足度の高いレストランサービスの提供を目指します。

(2) レストランの運営

1. 実施概要

レストランスペースは、当事業体が文化会館の営業日と連動して業態変化させる「3つのコンセプトカフェ」を直営します。

業態① コワーキングカフェ(通常営業日)のサービス

●インターネット環境の提供 ●ワーキングブースデスクの提供 ●カフェメニューの提供

業態② カフェレストラン(公演開催日)のサービス

●秦野産食材などを使ったメニューの提供 ●宴会・パーティプランの提供

業態③ 事業者との「コラボカフェ」

●地元事業者らと連携したコラボメニューや物産品の提供、イベントの開催

(3)大規模改修工事アドバイザー業務

クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)大規模改修のアドバイザー業務では、第三者である改修アドバイザーと施設状況を分析調査しながら、優先度の高い施設改修について報告をまとめます。令和4年度は、文化会館の運営や維持管理を通じて問題点の把握に努め、施設設備の点検記録「R4 年度診断カルテ」の作成、「R4 年度市民アンケート」の実施に取り組み、市の特定天井改修基本設計業務に協力します。

(4)質の高いオリジナルメディアの制作・運営

令和4年度は以下のようなオリジナルメディアの制作・運営に取り組みます。

○利用案内パンフレット	施設概要、ホール利用の案内パンフレットを制作します
○利用案内動画	施設の魅力を映像で紹介する利用案内動画を制作、配信します。
○ホームページ	ホームページを開設し施設情報や地域のイベント情報などを配信します。
○SNS	Facebook・Instagram・LINE@等のアカウントを開設します。
○月刊「催し物案内」	文化会館の催し物スケジュールを紹介するA4版の月刊紙を発行します。
○自主事業の販促物	自主事業を開催する際は、チラシやポスター等、販促物を制作します。

(5)市内芸術振興及び文化会館の利用普及、宣伝をはかる取り組み

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、秦野市の文化芸術振興に寄与し、広く親しまれる施設運営をするため、それらに資する自主事業と広報活動に取り組みます。

1. 多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する自主事業

「みんなが身近に音楽に触れる機会」「子供たちが芸術に触れる機会」「みんなが発表・活躍する機会」「みんなが文化会館を知る機会」を創出するため、大小ホールだけではなく施設全体を活用し、多様な事業を行います。また、地域人材などを活用したアウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくりに取り組みます。

【主な取り組み】○歌声喫茶 ○ホワイエコンサート ○子ども向け芸術振興事業 ○文化会館バックヤードツアー ○アウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくり

2. 市の芸術文化振興へ 文化会館と連動した新メディアの創刊

市内の芸術文化振興のため、文化会館と連動した下記のような新メディアを制作します。

●芸術文化創造マガジン「HADART はだあーと」

市内で活躍するアーティスト、文化芸術団体の活動、誰もが楽しめるアート体験の場など、市民が地域の文化芸術に触れてみたくなる話題を集めて発行します。情報公開の観点から、市に提出する事業報告書の内容についても掲載します。(年1回発行予定)

●タウンニュース全面特集企画「芸術文化通信」

タウンニュース秦野版で全面1頁～見開き2頁の芸術文化通信を企画します。芸術文化活動に光を当てる特集記事、文化会館の公演情報、地域のイベント情報等を掲載します。(年4回発行予定)